

景域 42 南吹田駅界隈



景域 42
 配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設
公園	橋	神社・寺院	景観形成地区
その他 (オープンスペース等)	文化財、 歴史的資源	学術文化施設	景観賞 過去受賞作品
風致地区	眺望点 (視点塔)		

● ずいた市民環境会議の活動…市全域

平坦な地形に、面的開発により戸建住宅や集合住宅が立地する景観

地形

平坦な地形が広がっており、景域の西側には糸田川が流れています。

歴史

もともとは湿地が広がる地域であり、昭和期以降、南吹田一帯で土地区画整理事業が行われ、道路などの都市基盤が整いました。

土地利用

昭和 45 年 (1970 年) の日本万国博覧会 (大阪万博) 開催以降、周辺の開発にあわせて、南吹田でも工場や倉庫などの立地が進みました。一帯の区画整理事業を通して、戸建住宅や集合住宅も建ち並んでいます。住宅地に位置する南吹田公園は地域の緑の核として、地域の人たちに親しまれています。

平成 31 年 (2019 年) 春に南吹田駅が開業し、周辺の幹線道路の整備も行われ、交通の利便性が高まりました。また、駅開業と共に整備された駅前広場にはかつてこの地域で水路から田へ水をくみ上げていた「ドンゴロス風車」をモチーフとしたモニュメントが設置され、昼夜ともに駅前のシンボルとなっています。



南吹田駅



フラワーロードの美化・環境維持活動

景観特性

都市活動・暮らし

南吹田駅まちづくり推進市民協議会が地元関係者により設立され、まちづくりのルールづくりや花いっぱいのみちづくりなどの取組が行われています。

穂波町自治会によりフラワーロードの美化・環境維持活動が継続して行われています。

緑やゆとり空間をまもり、南吹田駅前広場を新しい景観のシンボルとしてはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 南吹田公園の緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前や沿道の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、開放感があり、洗練された質の高い景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- おおさか東線の高架下などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を迎えるような光の演出に取り組むとともに、駅前にふさわしい照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 31, 35, 40, 43, 45